



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場会社名 サンワテクノス株式会社
コード番号 8137 URL <http://www.sunwa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 勢
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 正憲

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	54,457	7.2	1,417	△8.7	1,545	△9.7	1,033	△6.8
27年3月期第2四半期	50,784	6.7	1,552	13.7	1,710	14.7	1,108	20.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 353百万円 (△70.8%) 27年3月期第2四半期 1,209百万円 (△29.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	71.97	—
27年3月期第2四半期	77.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	56,463	22,103	39.1	1,539.59
27年3月期	58,748	21,951	37.4	1,529.00

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,103百万円 27年3月期 21,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	0.7	2,800	△19.4	3,000	△20.2	2,000	△18.9	139.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	14,438,000 株	27年3月期	14,438,000 株
② 期末自己株式数	81,142 株	27年3月期	80,910 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	14,356,937 株	27年3月期2Q	14,357,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成27年11月5日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済政策の効果もあり企業収益の改善を背景に設備投資が緩やかに増加しており、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、中国経済をはじめとした海外景気の減速への警戒感等が、日本経済の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、スマートフォン向けの需要が引き続き堅調を維持しているものの、中国経済減速の影響を受けて、半導体関連業界、産業機械業界の受注環境の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境の中で当社グループは、第8次中期経営計画（JUMP1200）の最終年度も引き続き重点施策を推進しております。特に電機・電子・機械の複合ビジネスに“エンジニアリング力”をプラスし、技術商社としての企業価値の向上を目指す取組みに加え、新たなビジネス領域を開拓する取組みを推進しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高544億57百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益14億17百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益15億45百万円（前年同期比9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億33百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、半導体製造装置向けのサーボモータの販売が増加いたしました。太陽光発電システム向けの制御機器の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は101億8百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

[電子部門]

電子部門では、産業機械業界向け、自動車関連業界向け及び産業用ロボット向けの電子部品の販売が増加いたしました。アミューズメント向けの電子部品の販売は一部減少いたしました。この結果、当部門の売上高は404億69百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、自動車業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。液晶搬送設備向けの設備機器の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は38億80百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

半導体製造装置向けのサーボモータの販売、産業機械業界向け及び自動車関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。太陽光発電システム向けの制御機器の販売、アミューズメント向けの電子部品の販売及び液晶搬送設備向けの設備機器の販売は減少いたしました。また、第8次中期経営計画（JUMP1200）の目標達成に向けた積極的な営業活動に伴い販売費及び一般管理費が増加いたしました。この結果、売上高400億93百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益9億25百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

② アジア

アジア地域では、産業機械業界向け、産業用ロボット向け及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしました。産業機械業界向けのサーボモータの販売は減少いたしました。この結果、売上高163億36百万円（前年同期比26.5%増）、営業利益5億円（前年同期比9.7%減）となりました。

③ 欧米

欧米では、自動車業界向けの生産設備の販売及びインバータ、サーボモータ向けの電子部品の販売が増加いたしました。POSシステム向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、売上高17億26百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益7百万円（前年同期比79.1%減）となりました。

④ その他

売上高は11億2百万円（前年同期比5.1%減）、営業損失5百万円（前年同期は営業損失20百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、564億63百万円となり前連結会計年度末に比べ22億85百万円減少しました。受取手形及び売掛金、投資有価証券（投資その他の資産）の減少がその主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、343億60百万円となり前連結会計年度末に比べ24億36百万円減少しました。支払手形及び買掛金の減少が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、221億3百万円となり前連結会計年度末に比べ1億51百万円増加しました。利益剰余金の増加が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億32百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には63億67百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億90百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加（4億47百万円）、仕入債務の減少（18億9百万円）、法人税等の支払（4億58百万円）等による減少がある一方で、税金等調整前四半期純利益（15億45百万円）、売上債権の減少（9億95百万円）等により一部増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億1百万円となりました。これは主に、その他に含まれる投資その他の資産の取得による支出（2億44百万円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億63百万円となりました。これは主に、配当金の支払（2億円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国経済減速の影響を受け、当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界は先行きの不透明感が強くなってきております。当社グループの業績もその影響を避けられず、中国での販売が減少傾向で推移いたしました。また、国内では半導体・液晶業界、アミューズメント向けの販売が当初の計画を下回る水準で推移していることから、通期業績予想を修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主から非支配株主への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,584	6,851
受取手形及び売掛金	34,419	33,465
電子記録債権	726	766
商品及び製品	5,384	5,933
仕掛品	82	0
原材料及び貯蔵品	0	—
その他	1,134	929
貸倒引当金	△93	△91
流動資産合計	49,239	47,855
固定資産		
有形固定資産	3,879	3,806
無形固定資産	243	240
投資その他の資産	5,386	4,561
固定資産合計	9,509	8,608
資産合計	58,748	56,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,496	25,748
短期借入金	1,462	1,464
1年内返済予定の長期借入金	1,320	1,922
未払法人税等	509	574
引当金	—	37
その他	1,582	1,233
流動負債合計	32,370	30,980
固定負債		
社債	1,200	1,200
長期借入金	900	300
役員退職慰労引当金	674	661
退職給付に係る負債	836	808
その他	814	409
固定負債合計	4,426	3,379
負債合計	36,797	34,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	1,958	1,958
利益剰余金	14,472	15,304
自己株式	△54	△54
株主資本合計	18,929	19,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,851	1,114
為替換算調整勘定	1,170	1,227
その他の包括利益累計額合計	3,022	2,342
純資産合計	21,951	22,103
負債純資産合計	58,748	56,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	50,784	54,457
売上原価	44,283	47,709
売上総利益	6,500	6,748
販売費及び一般管理費	4,948	5,331
営業利益	1,552	1,417
営業外収益		
受取利息	1	11
受取配当金	28	42
仕入割引	26	27
受取家賃	53	58
為替差益	3	—
その他	84	75
営業外収益合計	197	216
営業外費用		
支払利息	26	21
手形売却損	0	—
売上債権売却損	0	7
為替差損	—	46
その他	12	12
営業外費用合計	39	87
経常利益	1,710	1,545
税金等調整前四半期純利益	1,710	1,545
法人税等	602	512
四半期純利益	1,108	1,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,108	1,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,108	1,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280	△737
為替換算調整勘定	△180	56
その他の包括利益合計	100	△680
四半期包括利益	1,209	353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,209	353
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,710	1,545
減価償却費	105	126
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	11
受取利息及び受取配当金	△29	△54
支払利息	26	21
為替差損益 (△は益)	32	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△996	995
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△639	△447
仕入債務の増減額 (△は減少)	284	△1,809
その他	△818	△152
小計	△338	235
利息及び配当金の受取額	29	54
利息の支払額	△26	△21
法人税等の支払額	△883	△458
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,218	△190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8	△16
有形固定資産の売却による収入	40	—
投資有価証券の取得による支出	△15	△17
その他	10	△267
投資活動によるキャッシュ・フロー	25	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△62	△62
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△172	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234	△263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,481	△732
現金及び現金同等物の期首残高	6,453	7,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,972	6,367

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,073	11,688	1,306	50,068	716	50,784	—	50,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,548	1,227	169	3,945	445	4,390	△4,390	—
計	39,622	12,916	1,475	54,013	1,161	55,174	△4,390	50,784
セグメント利益又は損 失(△)	975	553	36	1,564	△20	1,544	8	1,552

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び棚卸資産の調整額△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,215	14,991	1,678	53,886	571	54,457	—	54,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,878	1,344	47	4,270	530	4,800	△4,800	—
計	40,093	16,336	1,726	58,156	1,102	59,258	△4,800	54,457
セグメント利益又は損 失(△)	925	500	7	1,433	△5	1,428	△10	1,417

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△10百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額△11百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	前年同期比 (%)
その他 (百万円)	258	98.1
合計 (百万円)	258	98.1

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	33,991	100.4
アジア (百万円)	12,685	132.9
欧米 (百万円)	927	118.8
報告セグメント計 (百万円)	47,605	107.8
その他 (百万円)	571	84.9
合計 (百万円)	48,176	107.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	37,201	99.7	11,196	99.4
アジア	15,334	126.5	5,797	123.2
欧米	1,733	140.8	772	135.1
報告セグメント計	54,269	107.1	17,766	107.4
その他	590	63.7	291	51.7
合計	54,859	106.3	18,058	105.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	37,215	100.4
アジア (百万円)	14,991	128.3
欧米 (百万円)	1,678	128.5
報告セグメント計 (百万円)	53,886	107.6
その他 (百万円)	571	79.9
合計 (百万円)	54,457	107.2

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。